

教育臨床心理実践センターだより

教育臨床心理実践センター発行
2015年 9月発行 第13号

教育支援センター主催 教育について考える公開講演会 「児童養護施設とは 一活動の実際と心理職の関わり」報告

7月31日(火)15時～17時に、附属教育実践センター機構棟1階・教育臨床心理実践センター教育臨床実習室において、中本 淳先生(社会福祉法人平安徳義会養護園)をお迎えして、児童養護施設での活動や心理職の関わりなどの理解を深めました。

まず現在の社会的養護の現状について、施設入所に至るまでの経緯や施設の種類、児童相談所が行う援助など、また、京都市内での施設の現状についても教えていただきました。近年の

児童養護施設への入所の背景に虐待が見られる場合が多いことも話題として取り上げられ、児童虐待の相談件数や対応状況など説明していただきました。そして、施設に入所する子どもの抱く思いや感情について、自己評価が低い子どもが多いことが述べられていました。また、子どもにとって施設入所体験は親からの分離体験であり、加えて“自分が悪い子だから”、“自分が可愛くないから”といった思いを抱かせることにもなると説明されていました。子ども一人一人が受けてきた被害は異なり、子どもの援助方針も異なってきます。施設に入所するまでに、子どもについての情報を集め、支援に必要な情報を施設の職員に伝えていくことが大切であると仰っていました。

次に児童養護施設での心理職の役割について、中本先生ご自身の経験を踏まえながら説明していただきました。心理士が行う仕事は、入所児童へのセラピー・職員へのコンサルテーション・関係機関との連携・生活場面での援助、と大きく分けて4つがあり、それぞれを一人で行っているということでした。施設での心理士は、施設と諸所の関係機関とをつなぐだけでなく、施設の日常場面にも直接かかわっていくことも求められています。そのことは、セラピー以外での子どもの様子を知れたり、施設内のケアワーカーとの関係性を

深めたりすることができる反面、セラピー空間と日常とを線引きすることの難しさがあると仰っていました。多様な役割を担う中、心理士として支援していく上での課題だけでなく、臨床心理士自体の役割についても常に考えながら働いているとお話されました。

質疑の場面でも多くの意見が上がり、中本先生の体験もうかがうことができました。なかなか聴くことのできない現場の生の声を伺うことのできた大変貴重な講演会となりました。



附属学校スクールカウンセラーから — 京都小学校・京都中学校 —

カウンセリング室前の大きな桜の木に季節の移り変わりを教えてもらいながら（ときに大量の毛虫に悩まされながら！）、附属京都小中学校でのスクールカウンセラーとしての勤務も5年目を迎えました。児童・生徒や保護者の方の反応を見ていると、学校にスクールカウンセラーが居ることが当たり前になってきているのだと感じます。

附属京都小中学校では比較的保護者の相談が多く、お話をうかがう中で教育相談に関してもみなさん意識が高いと感じます。何か問題が起こってからだけではなく、ちょっとした子どものサインを見逃さず早めにカウンセリングに来られる方もおられ、いわゆる予防的カウンセリングの役目を果たすことも多いです。このようにカウンセラーを活用していただけることのありがたさを感じているところです。また、教員との連携も年々広がりを見せ、その時その場に応じた臨機応変な連携ができるようになってきていると感じます。

今後は児童・生徒や保護者の方への心理教育なども視野に入れるなど、活動をさらに工夫し、広げていきたいです。（荒井久美子）

心理教育相談室について



平成12年度～27年(7月まで) 相談件数の推移

年度（平成）	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年
実相談件数	29	44	49	69	119	71	77	92
のべ相談件数	149	202	452	534	1033	573	640	678

年度（平成）	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年 (7月まで)
実相談件数	84	78	89	79	88	100	77	65
のべ相談件数	682	698	696	694	847	904	736	307



個人・家族・学校などの悩みや困った問題について心理的援助を行っています。まずは電話にて、お気軽にご連絡ください。

075-644-8824（月曜～金曜、午前10時～午後4時）

教育臨床心理実践センター・スタッフ

専任教員（センター長）教授 本間友巳 カウンセラー 岩井秀世（月曜）
兼任教員 教授 森孝宏 教授 内田利広 准教授 小松貴弘 講師 西村佐彩子
相談補佐員 荒井久美子（月・火曜） 金子真理子（水曜） 西山智栄子（木曜） 馬場喜美代（金曜）